

日本河川・流域再生ネットワーク <http://www.a-rr.net/jp/>  <https://www.facebook.com/JapanRRN>

「日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。

目次	Pages
➢ JRRN 事務局からのお知らせ	1
➢ 会員寄稿記事	3
➢ JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ	6
➢ 会議・イベント案内 & 書籍等の紹介	7

JRRN 事務局からのお知らせ (1) JRRN Activity Report

アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN) – ARRN 主催「第 14 回水辺・流域再生にかかわる国際フォーラム」 in マレーシア(8月17日) 開催案内

本年で 14 回目となるアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)主催行事『水辺・流域再生にかかわる国際フォーラム』を、2017年8月17日(木)にマレーシア国・クアラルンプール市にて開催致します。

本フォーラムは、参加国それぞれの水辺・流域再生に関する最新情報や課題等の発表を通じ、技術の共有・向上を図ることを目的に実施しているもので、本年は、第 37 回 IAHR 世界会議のスペシャルセッションとして “Function of Governance to River Restoration under the Climate Change” をテーマに開催致します。

気候変動下における水辺・流域再生に関連する 7 件の研究発表とそれを踏まえたパネルディスカッションを予定しています。

第 37 回国際水圏環境工学会世界大会 (37th IAHR World Congress)

- 開催期間 2017年8月13日(日)～18日(金)
- 場所 Putra World Trade Centre (PWTC)
マレーシア国・クアラルンプール市
- ウェブページ (英語)

<http://www.iahrworldcongress.org/>

また、国際フォーラムと合わせて、ARRN 運営会議やマレーシアの河川の現地視察も行う予定ですので、これらの行事の報告は、後日、ニュースレターやホームページにて発信させていただきます。

第 14 回 ARRN 水辺・流域再生に関わる 国際フォーラム 概要

- (1) 日時: 2017年8月17日(木) 9:30 - 13:00
- (2) 場所: Putra World Trade Centre (PWTC), クアラルンプール・マレーシア
- (3) 主催: アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)
- (4) テーマ: Function of Governance to River Restoration under the Climate Change
- (5) プログラム:
 - 9:30-9:45 開会挨拶・来賓挨拶
 - 9:45-11:00 研究発表【1】計5発表
 - 11:30-12:00 研究発表【2】計2発表
 - 12:00-12:55 パネルディスカッション:
 - <コーディネーター>
 - Suk Hwan Jang (ARRN 会長)
 - <パネリスト>
 - Jin Chul JOO (Korea / Hanbat National University)
 - Xiaosong WANG (China / IWHR)
 - 山田正 (中央大学)
 - <コメンテーター>
 - Sung Uk CHOI (Korea / Yonsei University)
 - Jinyong ZHAO (China / IWHR)
 - 福田勝之 (国土交通省水管理・国土保全局河川環境課)
 - 12:55-13:00 閉会挨拶

※「第 14 回 ARRN 国際フォーラム」詳細は下記参照 (英語版案内チラシ等)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/793.html>

(JRRN 事務局・内藤太輔)

JRRN 事務局からのお知らせ (2) JRRN Activity Report

小さな自然再生普及プロジェクト—今年度の現地研修会 (全3回) の企画調整状況

JRRN では、多様な主体が協働し日曜大工的に自然環境の保全・再生に取り組む「小さな自然再生」の技術と英知を高め、当分野に取り組む人材の育成を図ること、各地域に相応しい新たな取組を活性化させることを目的とした普及促進活動を継続的に実施しています。現在、「小さな自然再生」の現地研修会の企画調整を進めておりますので、その進捗状況について報告致します。

今年度は3回の現地研修会を予定しており、以下の3箇所を開催予定地として、研究会メンバーや協力頂く団体と研修内容の調整を進めています。

■ 研修予定地①：秋田県・雄物川水系

開催予定日：10月2日(月)

協力：秋田県建設部河川砂防課 等

■ 研修予定地②：福井県・九頭竜川水系

開催予定日：10月17日(火)

協力：福井河川国道事務所 等

■ 研修予定地③：岡山県西粟倉村・吉井川水系

開催時期：11月

協力：エーゼロ株式会社 等

通算第6～8回を迎える今回の3箇所は、いずれも昨年度の活動の過程で「是非私たちの地域で研修会を開催したい」というオファーをいただいた、川づくりへの熱意のある場所となります。協力先の団体が国、県、民間会社とそれぞれ異なるのも特徴で、それぞれの現場の目的意識や川の特長、地域と川との関わりに応じた、多様な研修内容になると思われます。①秋田県・雄物川水系、②福井県・九頭竜川水系の現地研修会については、開催予定日も決まっていますので、詳細が決まりましたら参加募集の案内を出させていただきますが、参加できそうな方は予定に入れていただけると幸いです。これまでの研修実績を活かした、より有意義な研修会を企画してまいりますので、リピーターの方も歓迎致します。

秋田県の研修会につきましては、先日の豪雨災害の影響で変更になる可能性もございますので、ご了解ください。ここに記して、豪雨災害に遭われた方々へのお見舞いを申し上げるとともに、本活動が川との関わりを見つめ直すきっかけの一つになることを願います。

なお、本活動は(公財)河川財団の河川基金の助成を受けて実施しています。

(JRRN 事務局・後藤勝洋)

「小さな自然再生」現地研修会 開催地位置図



8月



新川遊歩道

<http://twinkle77.exblog.jp/22914590/> より引用

あの日のあの川 リレー日記 ～第31話～



あの日のあの川
リレーDiary

みなさんはどこの川でどんなことをした記憶がありますか？ 幼少期や青春時代に体験した川での記憶を日記として掘り起こして語るコーナーです。リレー形式で毎回次の人にバトンをつなぎます。

第31話主人公 花島綺一

(筑波大学 社会・国際学群 国際総合学類 3年 白川(直)研究室『川と人』ゼミ)

(□川ガール・■川系男子)

(出身地を流れる川：千葉県 新川)

「長い長い遊歩道」

いつのこと？： 小中学生時代

どこの川？： 新川

私が一番身近に感じ、そして思い出深いものとして挙げられるのは「新川」という川です。まずは簡単にこの新川のことについて述べたいと思います。調べてみますと、この新川という名称を持つ川は日本各地に多く存在しているらしく、命名のし易さから過去に新しく川が出来るたびに同名の川が増えた、という経緯があるそうです。私が挙げる新川とは、かの印旛沼側の掘割工事により開削された疏水路部分を指します。同時に東京湾側の自然河川である「花見川」と合わせて「印旛放水路」を現在形成しています。

私の実家が高台に位置していることもあり数分歩けばこの新川を一望できること、また大学への通学中に最寄り駅まで行くのにすぐ傍を通ること、日常的に愛犬の散歩で新川の遊歩道を利用することがあるため私にとって今でも日常的になじみ深い川でもあるのです。この川をゆっくり散歩する時にはいつもこの川で過ごした思い出が脳裏に浮かび上がってきます。

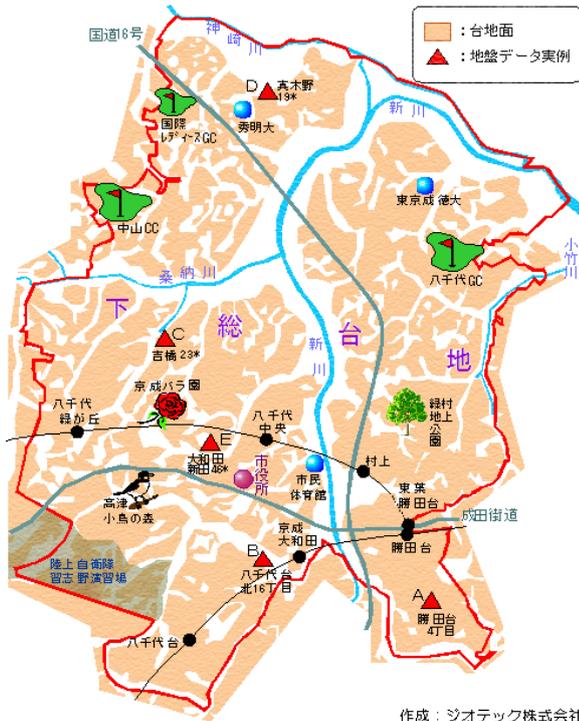
上述したタイトルにもある通りこの新川はその堤を利用した全長 19km の遊歩道をもっておりサイクリングロードやジョギングコースとして地元住民に親しまれてきました。思い返してみると、私が小学生であった時分にはマラソン大会で遊歩道もコースの一部となっており川に沿って走ったこと、生活科の授業の一環として新川の用水路での動物や植物の観察（より具体的にはザリガニ釣りやヨモギ摘みや草笛体験など）を行った

こと、学外学習としての遠足に際し半日かけて新川の遊歩道を大名行列が如く練り歩いたこと、新川の近くに住んでいらっしゃる農家の方の協力を仰いでの田植えをしたことなど様々な学校行事で直接的・間接的を問わずこの川と触れ合う機会は多くありました。また学校を通した行事以外でも、休日には私もサイクリングロードとして遊歩道に沿って長距離を自転車で巡ることや地域の共同体単位で新川の環境改善の一助とするためにゴミ拾いを行ったこと、そして季節ごとの市を挙げての行事、例えば夏祭りではこの遊歩道に沿って長い屋台が例年設置されていたことを今でも鮮明に覚えています。小学校を卒業した後、私は受験をしなかったので地元の中学校にそのまま入学することになりました。この中学生の時分に関しても地理的に離れていないこともありましたが新川と接する機会は小学生時代と変わらず、学校の活動を通して頻繁にあったのです。

高校時代には、進学先が柏市の高校であったこともあり新川と関わる機会そのものも減ってしまいましたし、昔のように学校を通してもしくは個人でアウトドアな活動を新川付近ですることともなくなってしまいました。大学3年次となり、白川先生の授業やゼミに入り「川」について学んだり触れ合う機会がまた増えるようになったこと、そしてこの「あの日あの川リレー日記」を執筆させていただく機会を得たことは私自身の思い出や新川について振り返る良い契機となったと感じています。新川ひとつ挙げるだけで普段意識していなかった思い出が喚起される。つまり新川は私にとっての一種のかけがえのない記憶装置でもあるのだということも実感することができました。

こうして数々の思い出を振り返ってみると、一つの川と深く接することができる小中学生時代というものはなかなか無いのではないかと思いますし、いつか私が年齢を重ねてこの新川の流れる地元に戻ってきた時、記憶装置たる新川に沿って長い長い遊歩道を歩くことで私はまた、自らの少年時代を思い起こすのだろうと予感しています。

図1：八千代市の簡略図、新川の地理的位置



作成：ジオテック株式会社

http://www.jiban.co.jp/tips/kihon/ground/municipality/chiba/yachiyo/P12_yachiyo.htm より引用

図2：八千代市の千葉県における位置



<https://ja.wikipedia.org/wiki/> より引用

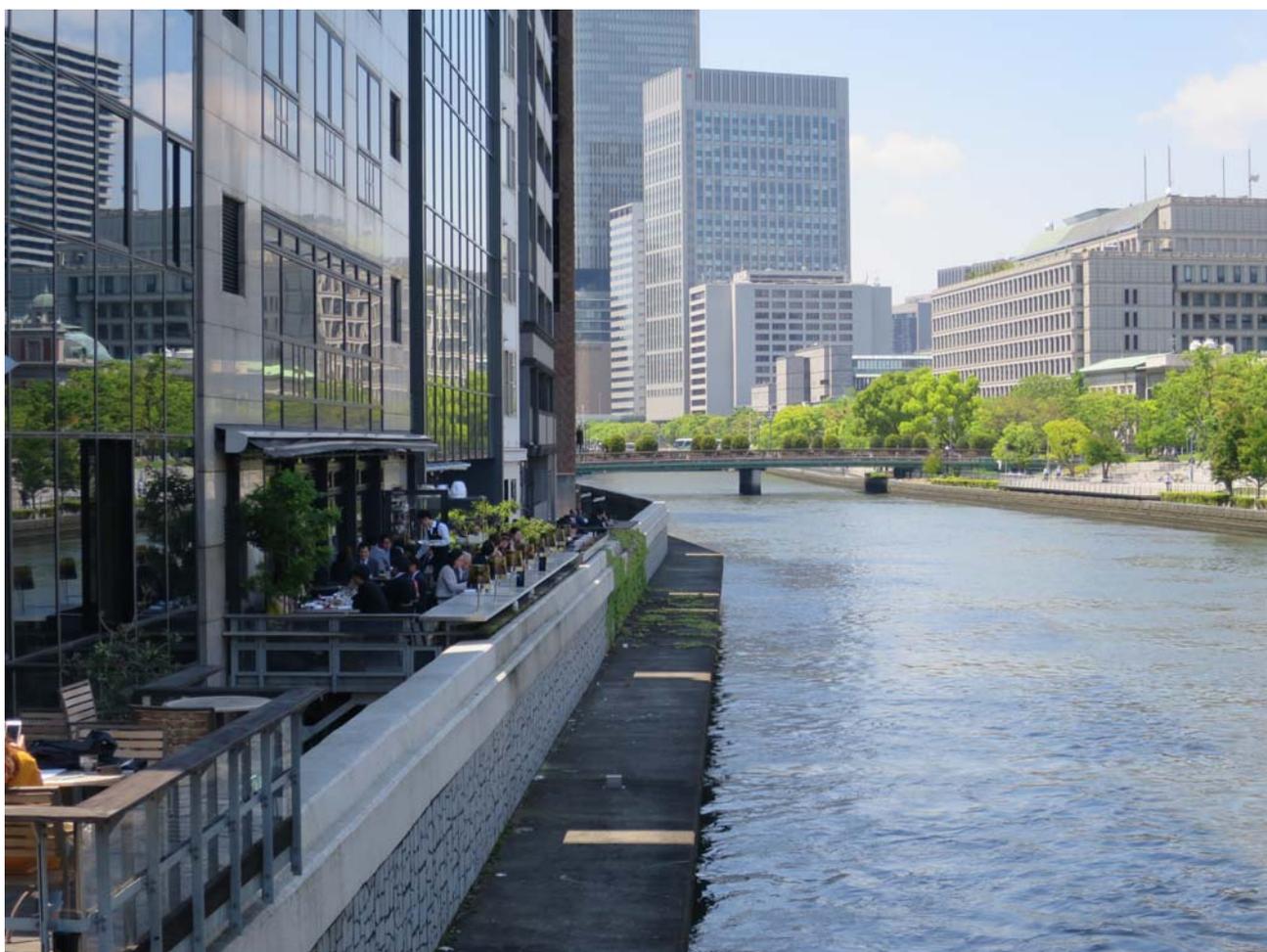
(次は岸田まりなさんにバトンを託します)

水辺からのメッセージ No.99

岡村幸二 (JRRN 会員)

一年中「川床」:

かつての船場文化を引き継いで 土佐堀川を眺めて楽しむ空間に



撮影：2017年4月（大阪市中央区・北浜テラス）

◆大阪自慢の常設川床（かわゆか）

「北浜テラス」は、大阪の水辺に賑わいを再生するため、北浜地域のテナントや建物オーナー等からなる北浜水辺協議会により実施されました。2009年に日本で初めて任意の地域団体が河川占用許可を受けてから、2017年現在に川床は15か所まで増えています。

◆風景まるごと水辺とみどり

「北浜テラス」は河川堤防上にビルから前に突き出た「川床」のことです。対岸の中之島公園の緑を眺めながら川風に吹かれると、とても気持ちのいい空間です。

■ JRRN 会員皆様からの寄稿記事を募集しています！

旅先で見かけた水辺の風景や思い、水辺再生に関わる様々な活動報告、また河川環境再生に役立つ技術等、JRRN 団体・個人会員皆様からの寄稿記事をお待ちしています。(JRRN 事務局)

JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ (2017年7月末まで提供分) Information from member

【JRRN 会員からの提供情報】

■ 筑後川・矢部川・嘉瀬川流域史研究会 第5回研究発表『北部九州豪雨水害を追求する』(8/19開催)



古賀河川図書館の古賀館長より、久留米市で開催される筑後川・矢部川・嘉瀬川流域史研究会発表会のご案内です。今回はテーマを緊急変更し、北部九州豪雨水害について発表と議論が行われます。

- 日時：平成29年8月19日(土) 13:00~16:50
- 場所：筑後川防災施設「くるめウス」(福岡県久留米市)
- 主催：筑後川・矢部川・嘉瀬川流域史研究会
- ◆ 詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2824.html>

【JRRN 会員からの提供情報】

■ 全国水辺のごみ調査『水辺のごみ見つけ!』案内

全国川ごみネットワークより、全国水辺のごみ調査「水辺のごみ見つけ!」のご案内を頂きました。日頃か皆さまが取り組まれている水辺の清掃活動の成果を、全国の皆さんとも共有しませんか?

■主催・報告・問合せ：全国川ごみネットワーク

・調査項目：

- 1)ペットボトル,
- 2)レジ袋,
- 3)カップ型飲料容器

・調査対象期間：11月30日迄

・調査の場所：身近な水

辺などでも(河川、用水路、湖沼、海岸など)

・報告方法：報告用紙に記載し、Eメール or FAX

◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2818.html>



【海外からの提供情報】

■ 「RRC (英国河川再生センター) 最新会報」ご紹介



RRC (英国河川再生センター) の最新会報 (2017年6月号) が RRC 事務局より届きました。

本号では、RRC 主催の現地研修行事の開催報告と案内、河川再生モニタリング手引き PRAGMO の更新に向けた調査、また英国内の河川再生事例集約に向けた取組み等が紹介されています。

◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2798.html>

【JRRN 会員からの提供情報】

■ 都幾川&高麗川アユ&魚釣りイベント(8/11 及び 8/19開催)

NPO 法人荒川流域ネットワークより、今夏の二つのアユ&魚釣りイベントの開催案内を頂きました。

<都幾川イベント>

【開催日時】2017年8月11日(金・祝日)

【集合場所】都幾川二瀬橋左岸

【集合時間】9:00

【開催時間】9:30-12:30

<高麗川イベント>

【開催日時】

2017年8月19日(土)

【開催場所】高麗川獅子岩橋下流

【集合時間】9:00

【開催時間】9:30-12:30

◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2811.html>



会議・イベント案内 (2017年8月以降) *Event Information*

(国内の河川・流域再生に関する主なイベント)

■ 都幾川アユ&魚釣りイベント

○日時：2017年8月11日(金・祝日) 9:00~12:30

○主催：NPO 法人荒川流域ネットワーク

○場所：都幾川二瀬橋左岸(埼玉県嵐山町)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2811.html>

■ 第5回研究発表『北部九州豪雨水害を追求する』

○日時：2017年8月19日(土) 13:00~16:50

○主催：筑後川・矢部川・嘉瀬川流域史研究会

○場所：筑後川防災施設「くるめウス」(福岡県久留米市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2824.html>

■ 高麗川アユ&魚釣りイベント

○日時：2017年8月19日(土) 9:00~12:30

○主催：NPO 法人荒川流域ネットワーク

○場所：高麗川 獅子岩橋下流(埼玉県日高市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2811.html>

■ 第10回いい川・いい川づくりワークショップ

○日時：2017年9月9日(土)~10(日)

○主催：いい川・いい川づくり実行委員会

○場所：福岡大学(福岡県 福岡市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2584.html>

■ 応用生態工学会第21回大会/ELR2017名古屋

○日時：2017年9月22日(金)~25日(月)

○主催：応用生態工学会

○場所：名古屋大学(愛知県名古屋市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2588.html>

■ 第17回川に学ぶ体験活動全国大会 in 北九州

○日時：2017年10月14日(土)~15(日)

○主催：川に学ぶ体験活動協議会

○場所：北九州市芸術劇場ほか(福岡県北九州市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2586.html>

(海外の河川・流域再生に関する主なイベント)

- 2017.8.13-18(Kuala Lumpur/マレーシア) 37th IAHR World Congress (IAHR 2017)

- 2017.9.18-20(ブリスベン/オーストラリア) 20th International Riversymposium

書籍等の紹介 *Publications*■ 水辺の小さな自然再生～あなたもはじめてみませんか？
(2017.3 発行)

・発行：「小さな自然再生」研究会/日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

・発行年月：2017年3月

・ページ数：16ページ



水辺でできる小さな自然再生の更なる普及促進を目的に、小さな自然再生の概要や取組む際の留意点、また「小さな自然再生」研究会による普及促進活動を紹介した簡易冊子です。

■ 河川モニタリング活動事例集～できることから始めよう
市民による河川環境の評価～(2014.3 発行)

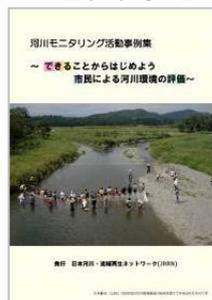
・監修：白川直樹 筑波大学准教授(JRRN 理事)

・執筆協力：河川再生に携わる市民団体や行政機関

・編集：JRRN 事務局、筑波大学白川(直)研究室

・発行：日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

・出版年月：2014年3月



市民が主体的に取組む河川環境のモニタリング活動の実態を調べ、各地のモニタリング活動事例や市民による河川モニタリング活動の更なる活性化に向けたヒントを紹介しています。

■ 上記冊子の「印刷製本版」入手方法 ※PDF版はこちらから：<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/>
JRRN 事務局までご連絡ください。送料のみご負担頂いた上で、無料で提供致します。(JRRN 会員限定)

JRRN 会員募集中 JRRN membership

■ JRRN の登録資格 (団体・個人)

JRRN への登録は、団体・個人を問わず無料です。市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川再生に携わる皆様のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

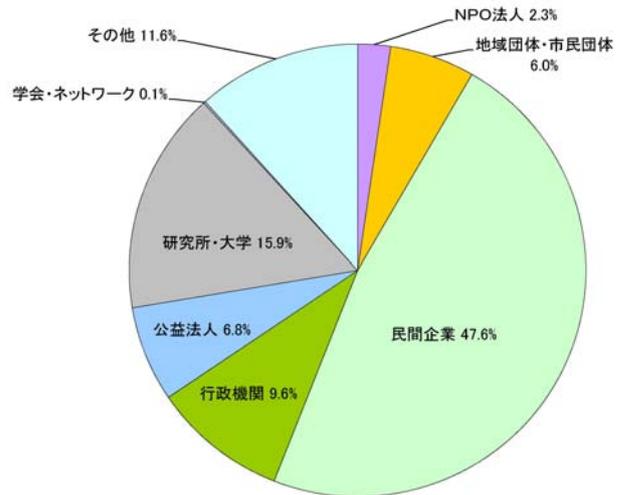
会員登録をされた方々へ、様々な「会員の特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川再生に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週1回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/member/registration.html>



2017年7月31日時点の個人会員の所属構成
(個人会員数：763名、団体会員数：60団体)

※7月の新規入会数：個人会員1、団体会員0

JRRN 会員特典一覧表 (団体会員・個人会員)

提供サービス	JRRN 個人会員	JRRN 団体会員	非会員 (一般)
1 ホームページへのアクセス及び記事へのコメント入力 ※1	◎	◎	◎
2 ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ※2	◎	◎	◎
3 ニュースメール(週1回)の配信 ※3	◎	◎	×
4 Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ※3	◎	◎	×
5 JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ※4	◎	◎	×
6 国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ※5	◎	◎	×
7 ホームページ「会員からのお知らせ」内及びニュースメール「会員からのご案内」欄で団体が関わる行事・出版物・製品等の案内の掲載 ※6	△※7	◎	×
8 ホームページ「会員登録状況」「国内団体」内及び年次報告書内で団体名の掲載	×	◎	×
9 ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ※8	×	◎	×
10 JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ※9	×	◎	×

会員特典詳細はウェブサイト参照：<http://www.a-rr.net/jp/member/benefit.html>

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局



〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 NMF 茅場町ビル7階 (公財)リバーフロント研究所 内

Tel:03-6228-3865 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net

URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>

JRRN 事務局は、「アジアにおける河川再生のためのネットワーク構築と活用に関する研究」の一環として、公益財団法人リバーフロント研究所と株式会社建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。

